

令和4年度庄原市特別支援教育支援員・学校司書研修会

＜令和4年4月4日（月） 庄原市ふれあいセンターコパリホール， 中会議室＞

【研修の目的】

- 庄原市職員としての服務規律について理解する。
- 特別支援教育支援員は，研修を通して資質の向上を図るとともに，児童生徒一人一人の障害の状態や発達段階に応じたきめ細やかな指導や必要な支援の充実を図る。
- 学校司書は，学校図書館の活用について研修を行うことにより，資質を向上させ児童生徒の読書活動の充実を図る。

【講話】「服務規律について」

庄原市教育委員会 教育部 教育指導課 学事係 管理主事 伊澤 知弥

- ◆公務員及び教職員として，法令法規を遵守して勤務することについて，法令に基づき確認した。
- ◆不祥事防止に関わり，事例を挙げて協議を行った。

◇「参加者の振り返り」より

- ・当事者意識をもつこと，自らも過ちを犯し得る存在であることを常に意識することが必要だと思った。
- ・庄原市職員として自覚をもって仕事に取り組みたい。



【講話・協議】「特別支援教育支援員について」（対象：特別支援教育支援員）

庄原市教育委員会 教育部 教育指導課 指導係 指導主事 片山 博子

- ◆特別支援教育は，障害のある子供一人一人の自立を目指し，障害による困難の克服・改善のために，教育的ニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行うものであること等を確認した。
- ◆今後の支援の参考となるよう，日頃の支援において留意していること等について，各校の実践を支援員同士で交流した。

◇「参加者の振り返り」より

- ・個々の児童にあった支援の仕方があるため，担任・家庭との連携をとりながら支援していくよう心掛けたい。
- ・児童実態を把握すること，児童実態に寄り添った支援・手立てをすることを意識して取り組んでいきたい。



【講話・協議】「学校司書について」（対象：学校司書）

庄原市教育委員会 教育部 教育指導課 指導係 指導主事 小谷 綾子

- ◆学校図書館の機能や，学校司書の法的位置付け，業務等について確認した。
- ◆3月に「庄原市子供の読書活動推進計画（第四次計画）」を策定した。これに基づき，読書推進活動を進めていくことを確認した。
- ◆新年度のスタートにあたり，一週間そして一か月で取り組むべき学校図書館業務について交流・協議を行った。

◇「参加者の振り返り」より

- ・学校司書，学校図書館の位置付けが再確認でき，他の司書の話を書くことで，自分の業務を振り返ることができた。
- ・新しい気持ちで1年間仕事をしていきたい。

